

健康診断結果の 検査内容の説明



診察等

■ 身長・体重・腹囲測定

身長と体重を計ります。

BMIを算出して肥満かどうかなどを判定します。

■ 聴力検査

耳の働き(聴覚)の程度を調べます。

■ 視力測定

目の動き(視覚)の程度を調べます。

片目ずつ視力検査表を見て測定します。肉眼で見る裸視視力とメガネなどをかけたときの矯正視力を測定します。



医師の所見が示される

■ 心電図検査

心臓の筋肉が伸縮する際に発生する微量の電流を、心電計でグラフ化したものを観察します。心電図からは不整脈や狭心症、心筋梗塞、心筋症、心肥大などがわかります。

■ 胸部レントゲン検査

胸部にX線を照射し、肺炎や肺結核、肺がん、胸膜炎、心肥大、縦隔腫瘍などを調べます。

■ 胃部レントゲン検査

造影剤バリウム液と発泡剤を飲んで、胃や十二指腸をレントゲン撮影して胃炎、胃ポリープ、胃潰瘍、胃がん、十二指腸潰瘍などを調べます。

■ 胃内視鏡検査

直径1センチほどの細長い管の先にレンズをつけた内視鏡（ファイバースコープ）を口や鼻から入れて、胃や十二指腸潰瘍などの病気の有無を調べます。

また医師が必要と認めた場合は、組織の一部を内視鏡の鉗子で採取して調べる検査、生検も行います。

■ 腰椎X線

椎体の状態を観察する撮影で変形や椎体どおしのズレ、ゆがみなどを観察します。撮影は椎体を各方向から観察するために数枚撮影します。

■ 腹部超音波

腹部超音波検査では、肝臓や腎臓、すい臓、胆のうなどの臓器や血管に異常がないかを調べることができます。



血圧

■ 血圧測定

心臓のポンプ作用によって血液が全身に送り出される時、血管に加わる圧力が血圧です。そこで、血圧を測定し高血圧・低血圧の有無を調べます。



大腸検査

■ 免疫便潜血反応検査

大腸や直腸に腫瘍ポリープがあるなど、消化管に出血があると便に微量の血液が混じるので、便を検査します。

■ Ht(ヘマトクリット)値

一定量の血液の中に含まれる赤血球の容積の割合を調べます。割合が低いということは、血液の血液濃度が薄いことにもなり貧血、高いと脱水症状や多血症が疑われます。

■ Hb(血色素量)

血液中の血色素量が少ないと、十分な酸素を運搬できないため検査値が低い人は貧血が疑われます。

■ RBC(赤血球数)

赤血球は血液成分の大部分を占めています。その数が少ないと酸素の供給不足になるため、貧血等が心配されます。

■ WBC(白血球数)

白血球は、体内に侵入した細菌や異物を分解して無毒化する作用があります。したがって白血球数が多い場合は、細菌による感染症や白血病など、少ない場合は貧血や血液の病気の可能性があります。なお喫煙者は、しばしば白血球増加がみられます。

■ Plt(血小板数)

血小板は、出血したときに血を止める働きをしています。検査値が高いときは感染症や白血病など、低い時は肝硬変や再生不良性貧血、白血病などの血液の病気が考えられます。

■末梢血液像

体内に異物が進入し増えた白血球を詳しく調べると、好中球やリンパ球などの5つの種類に分けられます。それらは形が違うだけでなく、病気によってどれが増減するかが異なっているので、白血球の種類ごとの増減数を調べ、診断の手がかりにします。



肝機能

■AST(GOT)

GOTは心筋や肝臓、骨格筋、腎臓など、さまざまな臓器の細胞の中にある酵素で、体の細胞を構成するアミノ酸をつくる働きをしており、臓器や組織が損傷すると血液中のGOTは増加します。

■ALT(GPT)

GPTもGOTと同じく、アミノ酸をつくる酵素のひとつで、血液中の量はGOTと比べると少量ですが肝臓障害に敏感に反応します。

■ALP

ALPはほとんどの臓器の細胞に含まれている酵素で、血清中のALPのほとんどは肝臓や骨、骨盤、小腸に含まれていたものです。検査では、胆汁の流出経路から肝臓障害、そして骨の病気等がわかります。

■ γ -GT(γ -GTP)

肝・胆道疾患の目安となる酵素です。高値の場合アルコール性肝障害等が考えられます。

■ TP(総蛋白)

血液蛋白にはいくつかの種類があり、体の代謝をスムーズに行う役割を持っていて、体に異常が生じると値が変動します。血液総蛋白量が高い場合は肝臓障害や自己免疫疾患など、低い場合は栄養不良や肝臓障害、腎臓障害、急性感染症などが疑われます。

■ ALB(アルブミン)

血清蛋白の中で最も多い蛋白で、病気になると低い値を示します。肝臓障害やネフローゼ症候群、栄養不良や炎症などの指標となります。

■ T-BC(総ビリルビン)

ビリルビンは、赤血球にあるヘモグロビン(血色素)からつくられる色素で、肝臓で代謝され、胆道に排泄されます。肝臓や胆道に障害があると、ビリルビン色素が血液中に増えるために黄疸になり体が黄色になります。

■ アミラーゼ(膵機能)

アミラーゼはでんぷんなど糖類を分解する消化酵素で唾液腺や膵臓から分泌されています。膵臓に障害があると、アミラーゼが血液中に出てくるため急性膵炎や慢性膵炎、膵臓がんなどの指標になります。

■ LD(LDH)

LDH(乳酸脱水素酵素)は、体内の糖がエネルギーに代わるとき働く酵素の一つで、全身の細胞に分布しています。LDHが高く異常値を示す場合は、肝臓障害や心臓病、悪性腫瘍、血液の病気などが疑われます。

■ T-CHoL(総コレステロール)

消化液やホルモンなどをつくる原料となる物質です。身体にとって必要なものですが、余分に摂りすぎると動脈硬化を引きおこし、狭心症・心筋梗塞・脳梗塞などの原因となります。

■ TG(中性脂肪)

皮下脂肪の主成分であり、エネルギー源として利用されます。高値の場合、動脈硬化や肥満を引きおこす危険性があります。アルコール・糖分の摂りすぎ、運動不足、体重増加などで高値となります。

■ HDL-CHoL(HDLコレステロール)

善玉コレステロールと呼ばれ、血液中の悪玉コレステロールを回収する働きがあります。そのため、増加すると動脈硬化の進行を予防し、減少すると動脈硬化を進行させます。

■ HDC-CHoL(LDLコレステロール)

悪玉コレステロールと呼ばれ、増加すると動脈硬化を進行させます。

■ UA(尿酸)

「尿酸」とは、体内でプリン体という物質が分解されたあとにできる老廃物のことで、血液中の尿酸の濃度を「尿酸値」といいます。尿酸が高くなると、痛風発作をおこしたり、さらに進むと腎障害を引きおこす場合があります。

■ CRE(クレアチニン)

クレアチニンは、体内でエネルギーとして使われた蛋白質の残りカスで、腎臓から排泄されていますが腎機能に障害があると排泄がうまくいかずにクレアチニンの値は高まります。クレアチニンが高すぎると、急性腎炎や慢性腎炎、前立腺肥大や腎臓結石、腎盂腎炎などの病気が疑われます。

■ 尿潜血

尿の通り道となる腎臓や尿管、膀胱や尿道などの臓器に異常があると、尿中に赤血球が検出されます。この場合、膀胱炎や腎臓・尿管の結石、急性腎炎、腎結核、膀胱や尿管、腎臓の主要などが考えられます。ごく微量で肉眼ではわからない赤血球もこの検査で調べられます。

■ 尿蛋白

尿中に排泄される蛋白を調べ、腎臓に病気がないか調べます。健康な人は尿蛋白はほとんど排出されませんが、激しい運動や寒さ、強いストレス、かぜで発熱した場合などに排出されることがありますが、これらの要因が回復すればすぐ正常に戻ります。

■ 尿沈渣顕微鏡検査

尿たんぱく、尿潜血などの検査で異常があった場合に行う検査です。



糖代謝

■ NGSP(HbA1c)

HbA1cは過去1-2月の血糖値の平均を示すと言われていています。HbA1c値が健康診断で5.6%以上であれば「血糖値が高めです」と言われます。

■ 血糖(GLU)

血液中の血糖値を調べる検査です。高値の場合、糖尿病が疑われます。食後経過時間によって「空腹時血糖（食後10時間以上経過）」「随時血糖（食後3.5時間～10時間未満）」「食直後血糖（食後3.5時間未満）」に分けられます。

■ 尿糖

血液中のブドウ糖が尿中に出てきたものです。血糖が高い場合や、腎臓の病気で再吸収がうまくできなかった場合に陽性となります。



腫瘍マーカーの説明

■ CEA

主に消化器系の腫瘍の指標です。健常人でもヘビースモーカー（高喫煙者）や高齢者で増加傾向が見られます。

■ AFP

主に肝臓の病変が疑われるときに上昇します。

■ PSA

高値の場合、前立腺がんの可能性が高くなりますが、前立腺肥大でも高くなる傾向があります。

※PSAV・PSAの前回と今回の数値の変動をみます。

PSAが正常範囲でもPSAVが高値の場合は前立腺がんの可能性が高くなります。（対象はPSA検査を2回以上受けている方のみ算出します。）

■ CA125

卵巣がん、子宮がんで上昇します。子宮内膜症でも上昇します。婦人科系疾患以外では、膵臓がん、大腸がん、肺がんなどでも上昇します。

■ CA19-9

膵臓がん、胆道がん、胃がん、肝がん、大腸がん、卵巣がんなどで上昇します。なお、がん以外でも肝硬変、肝炎、胆石、膵炎、糖尿病など幅広い疾患で上昇する場合があります。

■ SCC抗原

扁平上皮(細胞の種類)がんで陽性率が高く、子宮がん、肺がん、皮膚がん、食道がん、膀胱がんなどで高値を示します。がん以外の疾患ではアトピー性皮膚炎、気管支炎、結核、腎不全、人工透析患者などでも高値を示すことがあります。

■ シフラ

扁平上皮がんで高値になり、主に肺の扁平上皮がんや頭頸部腫瘍の経過観察に用いられます。